



佐野ブランドキャラクターさのまる

農業委員会 だより

第 19 号

令和 6 年 3 月
編集・発行
佐野市農業委員会
佐野市高砂町 1 番地
TEL 0283 (20) 3059



農地等の利用の最適化の推進に関する意見書を提出



わな猟講習会へ参加



農地パトロールを実施



赤城地区再圃場整備の様子

— 主な内容 —

- ◇会長挨拶・会長職務代理者挨拶 2 P
- ◇鳥獣害対策研究部会活動報告 3 P
- ◇農業委員・農地利用最適化推進委員紹介 4 P・5 P
- ◇市への意見書の提出・
耕作放棄対策研究部会活動報告 6 P
- ◇新しい担い手の紹介 7 P
- ◇編集後記 8 P

**新しい農業委員、
農地利用最適化推進
委員が就任しました。**

※詳しくは 4・5 ページを
ご覧ください

農業委員会会長あいさつ

佐野市農業委員会 会長 大 芦 宏

佐野市農業委員会は昨年7月20日に改選が行われ、新たな体制をもってスタートいたしました。市長からの任命を受けた後、第8回総会において、会長としての職を引き受けることになりました。農業委員会だより第19号の発行にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

今日の農業を取り巻く環境は、高齢化、担い手の減少、耕作放棄地の増加、鳥獣害に加え、世界的な異常気象や国際情勢の緊迫化と円安などにより、エネルギー価格や生産資材価格の高騰など、さまざまな課題を抱え、非常に変化の激しい時代を迎えております。

そして、農政の憲法とも言われる「食糧・農業・農村基本法」の見直しに向けた政府における検討がなされるなど、大きな変革の時でもあります。

こうした情勢変化の中、農業が成長産業として、持続的に発展していくためには、優良農地の確保、担い手への集積など、これからも更に力を入れた、地

域一体となった一層の取り組みが必要と考えます。

そこで、農業委員会としても、昨年11月4日に、これらの支援体制と指導援助のお願いとして、「令和6年度佐野市農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」を金子市長に提出いたしました。

又、農業委員会組織は、昨年4月の改正農業経営基盤強化促進法の施行により、2年間で将来の地域農業の指針となる「地域計画」策定のため、目標地区の素案作りを進めることになりました。

そこで、佐野市においても既に昨年12月より各地区でこれら座談会の開催がスタートしておりますが、この地域計画策定においては、それぞれの地域で、さまざまな実情もあると思いますので、残された1年に限らず、農政課を中心として、JAなどの関係機関、認定農業者、兼業農家等といった、各地域総がかりで、話し合い調整を如何に続けることができるかが最も大事

なことだろうと思います。

これからも、農業委員、農地利用最適化推進委員一丸となって地域農業発展のため、地域の調整役として活動してまいりますので、皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。結びに皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申しあげ挨拶とさせていただきます。

会長職務代理者あいさつ

佐野市農業委員会 会長職務代理者 新井 勉

佐野市農業委員会は7月に改選され会長職務代理者に選任されました。会長と共に3年間頑張って職務に取り組んでまいります。

今後の農業経営では地域営農や法人経営、6次産業化を更に積極的に取り入れることで希望は大いにあると考えております。また、鳥獣害対策、担い手の確保と支援、中山間地域の農地保全、耕作放棄地対策等多くの課題に対し地域の方々との連携を更に強化していく必要があると思えます。地域の皆さまのご協力を賜りながら農業委員会も一丸となって頑張っております。

営農・生活に役立つ
農業総合専門誌。



を読みましよう！

購読申し込みは
農業委員会事務局
又は地元委員へ

老後の備えとして

農業者年金

次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。

年間60日以上
農業従事

国民年金1号
被保険者
国民年金保険料
納付免除者を除く

60才未満



鳥獣害 わな

鳥獣害対策研究部会の活動について
 鳥獣対策研究部会
 副部長 **横塚 則夫**

鳥獣害対策研究部会では、野生鳥獣被害が深刻化している奥佐野と呼ばれる中山間地域の皆さんが安心して農業が営めるよう、講習会を通じて有害鳥獣の捕獲技術を学び、その普及活動をしています。今年度も11月2日に旧戸奈良小学校で開催された佐野市有害鳥獣被害対策協議

農業青色申告のすすめ

佐野市農業青色申告会では、会員を対象に各種申告書類の書き方・提出について講習会や相談会を開催しております。

新たな会員を募集しています。申し込みは佐野市農業青色申告会事務局へ
 (農業委員会事務局内
 電話20-3059)

会主催のわな猟講習会に多数の委員の参加をいただきました。講習では猟友会員から実際の「くくりわな」と「箱わな」を用いての基礎知識と技術を学びました。今年度佐野市では猟友会を主体に猪・鹿・猿を合計2,900頭の捕獲を目指しています。今後も中山間地域では耕作者の減少と耕作放棄地増加により有害鳥獣は益々増えると思われる、地域の皆さんの理解と協力と情報を得て安心して暮らせる郷になれるよう取り組みたいと思います。

農地の貸借に関する注意喚起

○相対で知人に貸したり借りたりしている
 ○相続で取得した農地を知らない人が耕作している
 ○知らない人の農地を親の代から耕作している
 ⇒手続きをしていないと下記のトラブルに発展する可能性があります

- 相対で貸している農地を返してもらえない
- 借り手に賃借権が時効取得され、離作料を請求された
- 親の代から耕作している農地を突然返せと言われた

農業委員会、農業公社、農地中間管理機構、いずれかの機関で手続きが必要です

農地の貸し借りについては、農業委員会にご相談ください

こんなときは手続きが必要です!

- 農地を所有権移転や貸借するとき
 農地を売買・交換・贈与するとき、貸し借りをするときは、許可等が必要です。
- 農地を転用するとき
 農地を農地以外(住宅、太陽光発電、駐車場など)にするときは許可や届出が必要です。
- 農地を相続したとき
 農地を相続したときは届出が必要です。

各種申請は原則毎月10日が締切です。(問い合わせ 農業委員会事務局 ☎20-3059)
 ※締切日は変更になることがありますので、お問い合わせください。

新農業委員紹介

農業委員は、農家の代表として、農地の貸借・売買、農地転用許可等について、総会で審議・判断を行うと共に、農地利用の最適化に取り組んでおります。

氏名
①住所地区
②担当地区



小久保 勝

- ①飯田町
- ②植野地区

農地法を遵守し地域農家の代弁者として農業振興に尽力します。



小林 秀男

- ①飯田町
- ②植野地区

農地集積や新規就農者への支援を通じて、市の農業振興に寄与してまいります。



大芦 宏

- ①石塚町
- ②赤見地区

地域に合った農地保全の在り方と、耕作放棄地の解消に努力します。



齋川 英夫

- ①免鳥町
- ②佐野・堀米・旗川地区

農業の発展と環境保全に努力し、活動してまいります。



深澤 雄二

- ①栃本町
- ②栃本・田沼北部地区

農地集積や耕作放棄地の解消に努力します。



澁江 修身

- ①小見町
- ②田沼・戸奈良・田沼南部地区

多面制度を活用し、地域農地保全に取り組みます。



野村 春男

- ①下羽田町
- ②吾妻地区

耕作放棄地の解消や、農地の集積に努力してまいります。



川田 恒夫

- ①村上町
- ②吾妻地区

担い手農家の農業効率化を考えて農地再整備事業をやりたいです。



蘆原 洋子

- ①小中町
- ②界・犬伏地区

女性が豊かで元気に輝ける地域農業の発展に努めてまいります。



小関 昭男

- ①西浦町
- ②界・犬伏地区

耕作放棄地の解消や担い手の育成等、地域農業に努力します。



立川 幸一

- ①牧町
- ②常盤・氷室地区

中山間地域の地形をいかした農業振興と地域の保全に努めてまいります。



新井 勉

- ①中町
- ②常盤・氷室地区

市の農業振興に努力し、鳥獣害対策を目標に頑張ります。



中島 福一

- ①中町
- ②葛生地区

農業の現状を理解し、未来に繋げるための働きかけをした



松島 明

- ①閑馬町
- ②新合・飛駒地区

中山間地域の耕作放棄地の有効活用を努力していきます。



石澤 和枝

- ①多田町
- ②三好・野上地区

農業の現状を正確に把握し、将来への展望が持てるよう努めます。



石田 光

- ①長谷場町
- ②三好・野上地区

農地法等を遵守しつつ、荒地や獣害解消に微力ながら努力します。

新農地利用最適化 推進委員紹介

農地利用最適化推進委員は地元地域に密着した活動により、農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消に取り組んでおります。

氏名
①住所地区
②担当地区



小林雅由

- ①飯田町
- ②植野地区

夢のある農業実現に向け、農地の有効活用が進むように努力したい。



武井孝夫

- ①君田町
- ②植野地区

遊休農地の防止・解消をする。出し手の人の思いを大事にする。



岩上政衛

- ①赤見町
- ②赤見地区

耕作放棄地の解消に取り組む地域農業振興に努めてまいります。



峯岸一浩

- ①並木町
- ②佐野・堀米・旗川地区

農地利用の集積や耕作放棄地の解消に取り組む、地域農業の振興に努めます。



田中敏夫

- ①多田町
- ②栃本・田沼北部地区

地域農業の発展と、耕作放棄地の減少するよう努力いたします。



美濃島喜久夫

- ①栃本町
- ②田沼・戸奈良・田沼南部地区

地域農業の発展、鳥獣害対策に微力ですが努力いたします。



吉田正義

- ①高橋町
- ②吾妻地区

農業の現状を考えて、地域として成り立つ農業を考えていきます。



青木 務

- ①上羽田町
- ②吾妻地区

農地利用の集積化、維持管理等、地域農業の為に頑張ります。



須藤伊佐男

- ①富岡町
- ②界・犬伏地区

地域農業の発展のため、みなさまの協力を得て努力していきます。



山田貞一

- ①越名町
- ②界・犬伏地区

推進委員になりまして初めて色んな事に気がつきました。これからも頑張っていきます。



石田憲一

- ①牧町
- ②常盤・氷室地区

佐野市の農業環境の保全維持のために取り組めます。



横塚朝夫

- ①中町
- ③葛生地区

地域での耕作放棄地発生を防止し、夢のある農業振興に努めます。



岩沢一芳

- ①飛駒町
- ②新合・飛駒地区

耕作放棄地の解消、鳥獣害、排水路対策、地域農業発展の為に頑張ります。



影山幸次郎

- ①岩町
- ②新合・飛駒地区

耕作放棄地増加防止に向け、地域の皆様と伴に努力していきます。



横塚則夫

- ①白岩町
- ②三好・野上地区

中山間地域の多様性を活かしつつ、獣害対策にも取り組めます。



向田栄一

- ①船越町
- ②三好・野上地区

里山保全、耕作放棄地解消に全力で取り組みます。

**佐野市長に令和6年度
農地等の利用の最適化の
推進に関する意見書を提出**

佐野市農業委員会では、「令和6年度佐野市農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」をまとめ、11月24日に金子市長に提出しました。

また、市長と農業委員、農地利用最適化推進委員との意見交換も行いました。

主な内容は、次のとおりです。

1. 鳥獣害対策

- (1) 獣害用電気柵等について
- (2) 害獣捕獲に対する補助金及び狩猟者の増加対策について

2. 担い手の確保と支援

- (1) 農業設備や機械に対するあっせん制度について
- (2) 新規就農希望者の増加を図る取組みについて

3. 農業基盤の整備対策

- (1) 土地改良事業の促進について
- (2) 水田用水堀等の土砂災害

4. 耕作放棄地対策
について

- (1) 耕作放棄地に対する働きかけについて
- (2) 農地の多面的機能の維持について



金子市長に意見書を提出

**耕作放棄対策研究部会の
活動について**

耕作放棄対策研究部会
部会長 **小関 昭男**

近年の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加等、課題が数多く報道されています。

耕作放棄対策研究部会では、耕作放棄地が増加することで、鳥獣害や害虫の被害が拡大して

しまうことや、将来の食糧問題だけでなく現在の住環境のためにも、農地を農地として適正に管理していくことの必要性を認識して頂ければと考えています。

一度荒れてしまった農地を元どおりの農地に戻すのは容易ではありません。そのため、農業委員会では定期的に農地パトロールを行い、農地の管理状況の実態を把握することに努め、耕作放棄地の発生防止に寄与してまいります。

お持ちの農地について

- ・高齢で耕作が続けられない…
- ・相続したが管理できない…

佐野市農業公社 にご相談ください!

- ①借り手を探すお手伝いをします。
- ②借り手が見つかった際の契約の手続きをします。

(公財) 佐野市農業公社

電話 0283-21-5489 〒327-0007 佐野市金吹町235-1

農地は適正に管理しましょう

耕作放棄地は、冬は枯れ草が火災原因となり、夏は病害虫等の発生の原因になり、イノシシ等有害鳥獣の隠れ場所にもなります。

耕作放棄地にならないよう、**定期的な除草にご協力ください。**



第15回 新しい担い手を紹介します!

「新規就農」

岡本広太さん(富士町)



岡本広太さん(42)は、農業用資材のメーカーに10年以上勤務していました。会社員時代に、農家さんを見ていて農業に魅力を感じていたことから、独立して自分で事業を行いたいという思いが強くなっていき、いちご農家になることを決意しました。

就農にあたり、J A 佐野や安足振興事務所、佐野市農政課に相談し、佐野市園芸振興協議会の新規就農塾において、一年間研修を受けてしっかりと

基礎を学ぶことができました。農地とハウスは、J A 佐野をはじめ関係機関の協力もありいちご経営を引き継ぐ方からスムーズに引き継ぐことができました。初期投資にお金がかかると聞いていたため、生活費が確保できるかなど金銭面での心配が大きかったとのことですが、国や県の補助金を活用したり、もともとあった設備の基礎と骨組みは生かして、ビニールの張替えや設備の入れ



替えを行うことで、初期投資を大幅に抑えることができました。

今年11月から、岡本さんの高設養液栽培ハウスでは、新品种のとちあいかの収穫が始まりました。

不安なことはないですかと質問すると、始まったばかりで、知識と経験が不十分なので、いちごを枯らしてしまうのではないかと、判断に迷うことがたくさんあるそうです。そんな時は、研修の受け入れ先である先輩農家さんに相談にすると、わからないことを丁寧に教えてくれたり、定期的にハウスに様子を見に来てくれて、気が付いたことをアドバイスしてもらえたりするので、改めて先輩農家のすごさを実感しており、感謝の気持ちでいっぱいだそうです。おかげさまで、今



のところ収穫は順調で、少し安心しているとほっとした表情をされていました。

会社員時代は仕事に追われ、ご家族と過ごす時間がなかなか取れなくて、寂しく感じていたそうですが、今は、作業場の一角を息子さんが遊べるようにしたことで、一緒に過ごす時間が格段に増えたことが就農して良かったことの一つですと教えてくれました。農業は魅力的な仕事だと、多くの人に知ってもらい、より多くの方が農業に参入して欲しいと話してくれました。

農地バンクを活用しましょう!

農地中間管理事業

- 平成26年度から始まった農地の貸借を進める仕組みです。
 - 公的機関が農地の中間的な受け皿となるため、安心して農地の貸借ができます。
 - 農地バンク事業を活用すると、農地の出し手、受け手の双方にメリットがあります。
- ※「農地バンク事業」は、「農地中間管理事業」の別称です。

農地中間管理事業の仕組みとメリット



編集後記

農業委員会だより第19号発行にご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

令和5年度は、佐野市農業委員会でもさまざまな活動が再開されようになり、本市の農業発展のため活動を行ってまいりました。

これからも本誌をとおして委員活動や地域農業に関する情報をお伝えてまいります。地域の皆様におかれましては、ご理解ご協力をお願いいたします。

編集委員

編集委員長	大芦 宏
編集副委員長	新井 勉
編集委員	石田 光
	小林 秀男
	松島 明
	種原 洋子